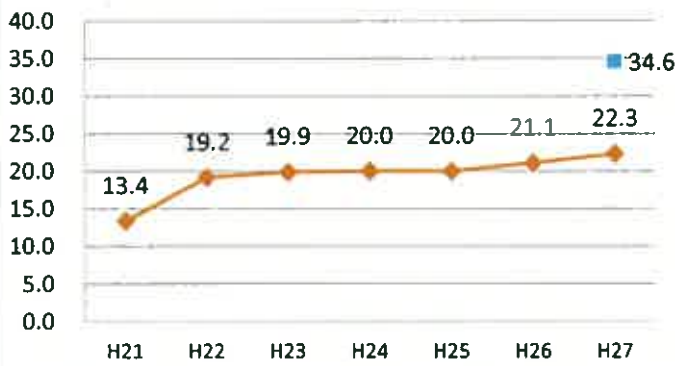
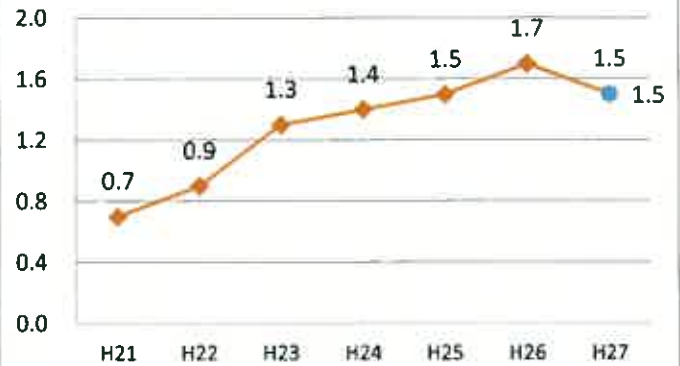


子宮がん頸がん検診受診率



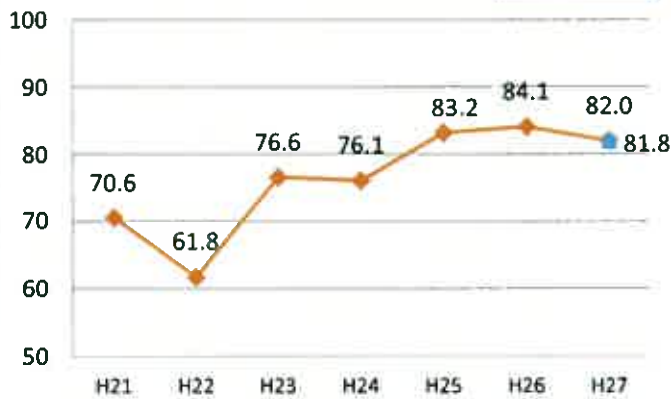
子宮頸がん検診要精検率

1.4%以下



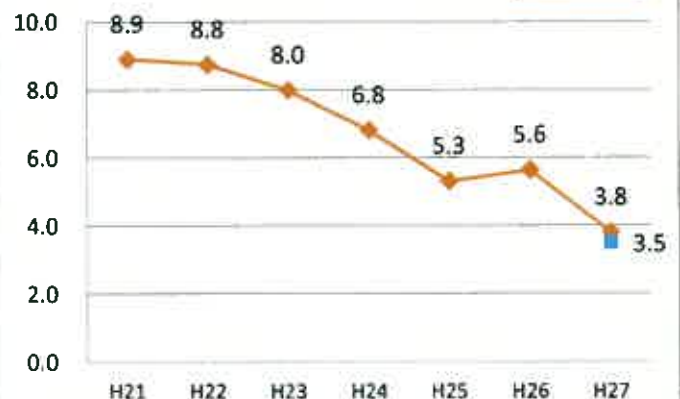
子宮頸がん検診精検受診率

70.0%以上



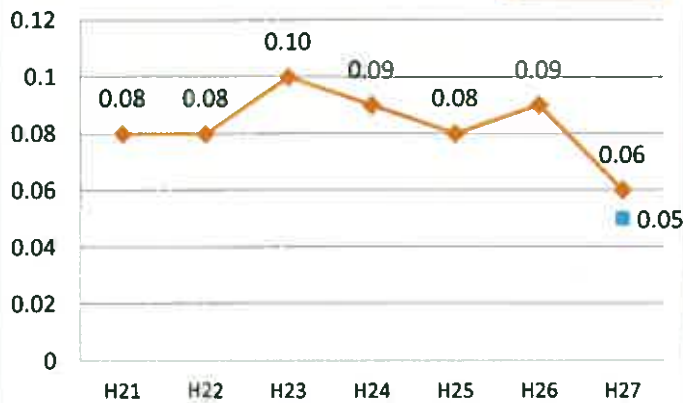
子宮頸がん検診陽性反応の集中度

4.0%以上



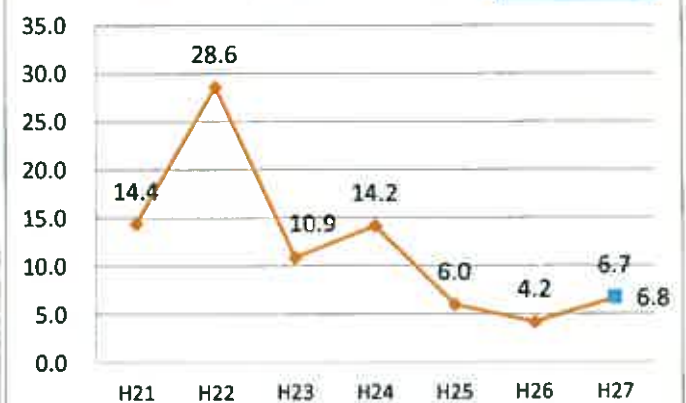
子宮頸がん検診がん発見率

0.05%以上



子宮頸がん検診未把握率

10.0%以下



◆ 40歳以上

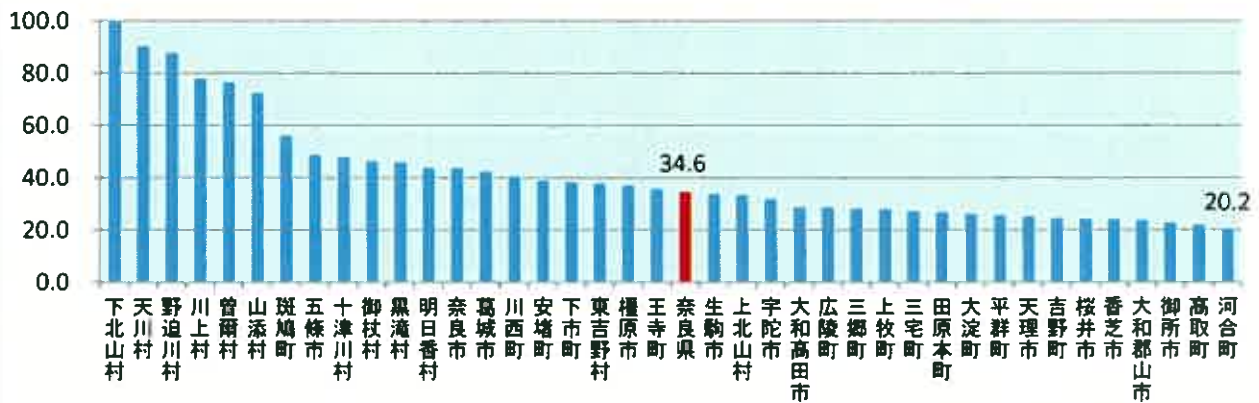
■ 40~74歳 (検診受診率:40~69歳)

(年度)

H27年度子宮頸がん検診受診率(20歳以上)



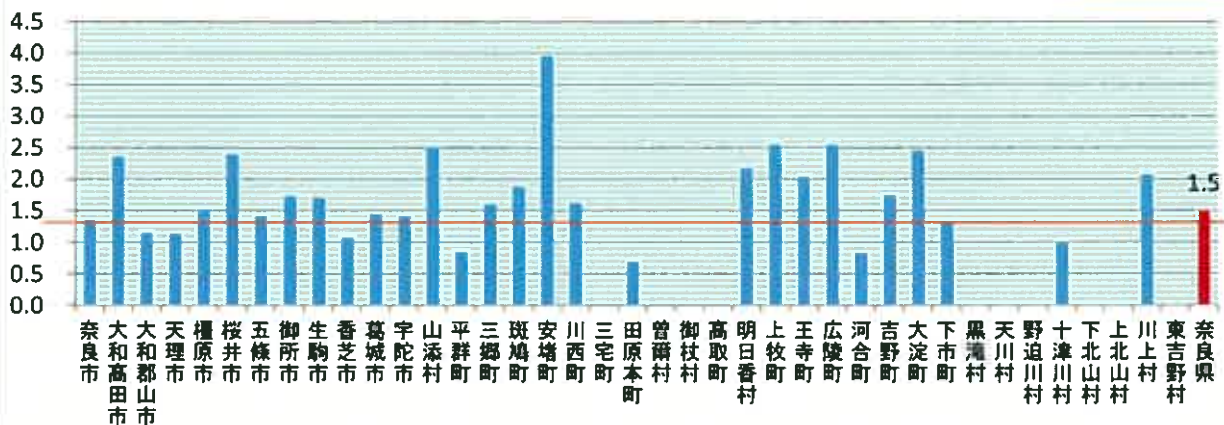
H27年度子宮頸がん検診受診率(20~69歳)



- 受診者数は、H26年度より減少している。(20歳以上:40,738人→38,127人)
- 20~69歳の受診率は、20歳以上の受診率よりも高い。
- 県平均より受診率の高い市町村は、対象者へ個別勧奨を実施している。

H27年度子宮頸がん検診要精検率(20~74歳)

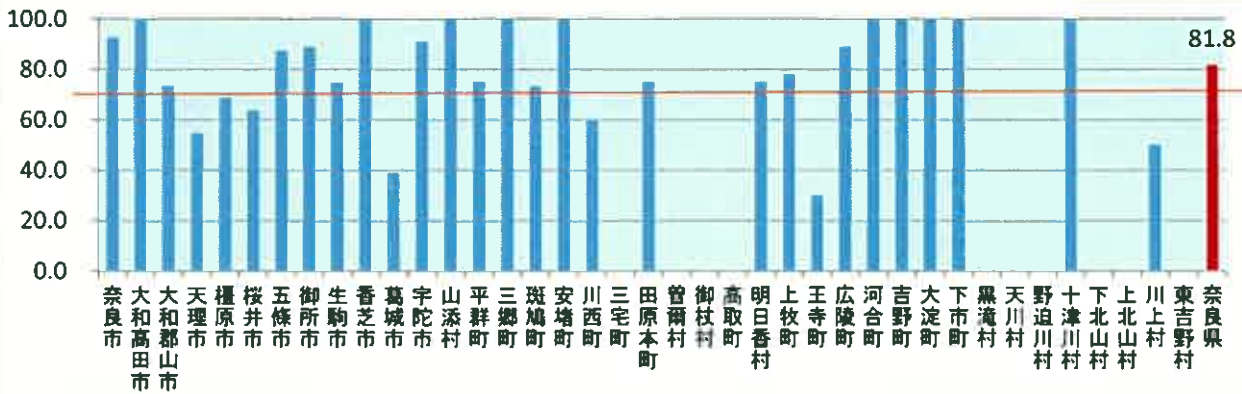
許容値1.4%以下



- 県の要精検率は1.5%であり、国の許容値を超えている。

H27年度子宮頸がん検診精検受診率(20~74歳)

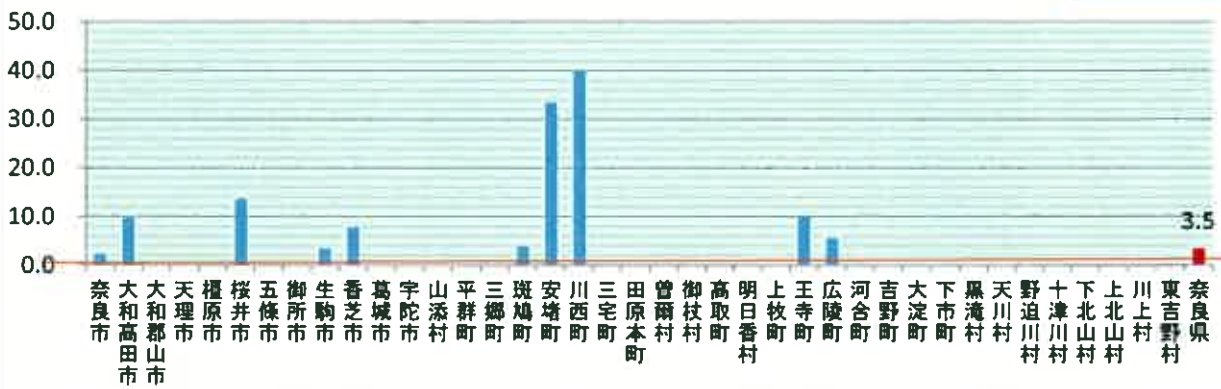
許容値70%以上



○県の精検受診率は82.2%であり、国の許容値を満たしている。

H27年度子宮頸がん検診陽性反応適中度(20~74歳)

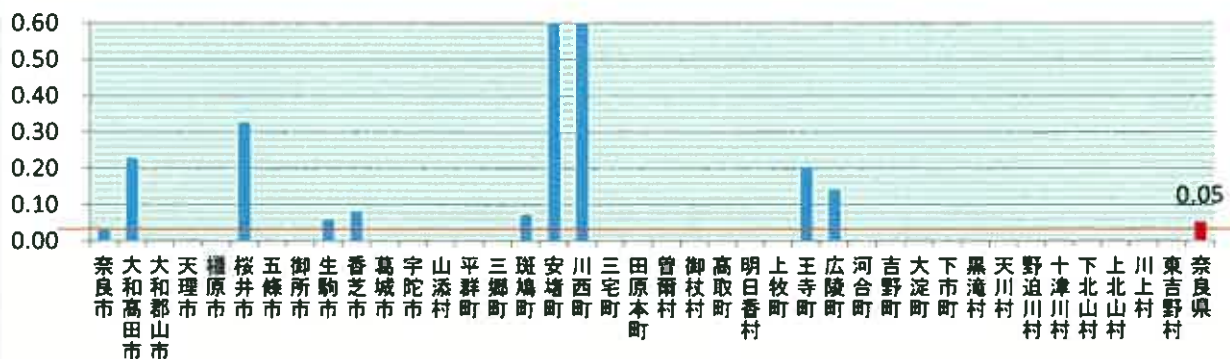
許容値4.0%以上



○県の平均陽性反応適中度は、国の許容値を下回っている。

H27年度子宮頸がん検診がん発見率

許容値0.05%以上



○県のがん発見率は、国の許容値を満たしている。